

清須市はるひ絵画トリエンナーレ
アーティストシリーズ Vol.104

石川 丘子展

Yes, we are connecting, but...

2024年2月10日(土) - 3月3日(日)
清須市はるひ美術館

アーティストシリーズは、公募展「清須市はるひ絵画トリエンナーレ」の受賞者を1名ずつ個展形式で取り上げる展覧会です。104回目となる本展では、清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレで入選/きよす賞を受賞した石川丘子をご紹介します。

いくつかの平面の重なりによってできていること、同じ図像を反復させること、そして、作家がコントロールできない偶然性に委ねる部分があること。版画の特質を表現に変換する石川丘子は、そのなかでも木版画に取り組み続けてきました。

彫刻刀でドローイングするように刻まれた線は、版の重なりやズレによってモアレを起こしたように絡まり合い、図像を曖昧にしていきます。縦横のラインは重なりが透過して、次第に画面を覆うチェック柄となり、紙の風合いも相まって布地のような柔らかい印象を生じさせます。

水性木版のそうした軽やかさを自然体であらわす石川の作品は、鑑賞者の思考をも緩やかにほぐしていくのかもしれませんが。カーテン越しに見た雄大な山はいつしか寝ころぶ人の身体になり、つながったり途切れたりする稜線をたどると、生命の音が聞こえてきます。

石川は「焦点のない絵をつくりたい」と言います。目的地を定めずに逍遙するように、版画の風景をお楽しみください。

石川 丘子 ISHIKAWA Takako

1981 埼玉県生まれ
2013 中国美術学院 美術学科修士課程 修了
2006 多摩美術大学 絵画研究科修士課程 修了

個展

2011、2012、2014、2018、2020、2022 トキ・アートスペース (東京)
2021 GAMOYON Gallery (大阪)
2015 Center for Graphic Art and Visual Researches AKADEMIJ (ベオグラード、セルビア)

グループ展 (2017 ~)

2021 清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ/清須市はるひ美術館 (愛知)
CONTEMPORARY ART FROM SWEDEN part III - アートの庭/三溪園 (神奈川)
HIDDEN SCENERY 小野久留美 & 石川丘子/清アートスペース (東京)
2020 Daejeon International Print Exhibition / IGONG Gallery 他 (大田、韓国)
2019 CON 展 en Ashikaga 2019 / (栃木)
2人展 permeate / (大田、韓国)
2018 中国水印版画大展/浙江美術館 (杭州、中国)
中国水印版画文献展/江蘇省美術館 (南京、中国)
2017 3人展 夜間飛行/秋山画廊 (東京)
中国・観瀾国際版画ビエンナーレ/深圳市観瀾版画原創産業基地 (深圳、中国)

賞、レジデンスなど

2021 清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ 入選・きよす賞
2019 レジデンス/ Korea International Residency Program (大田、韓国)
2016 ワークショップ/タゴール国際大学 (サンティニケタン、インド)
2014 レジデンス/深圳市観瀾版画原創産業基地 (深圳、中国)

石川丘子ウェブサイト

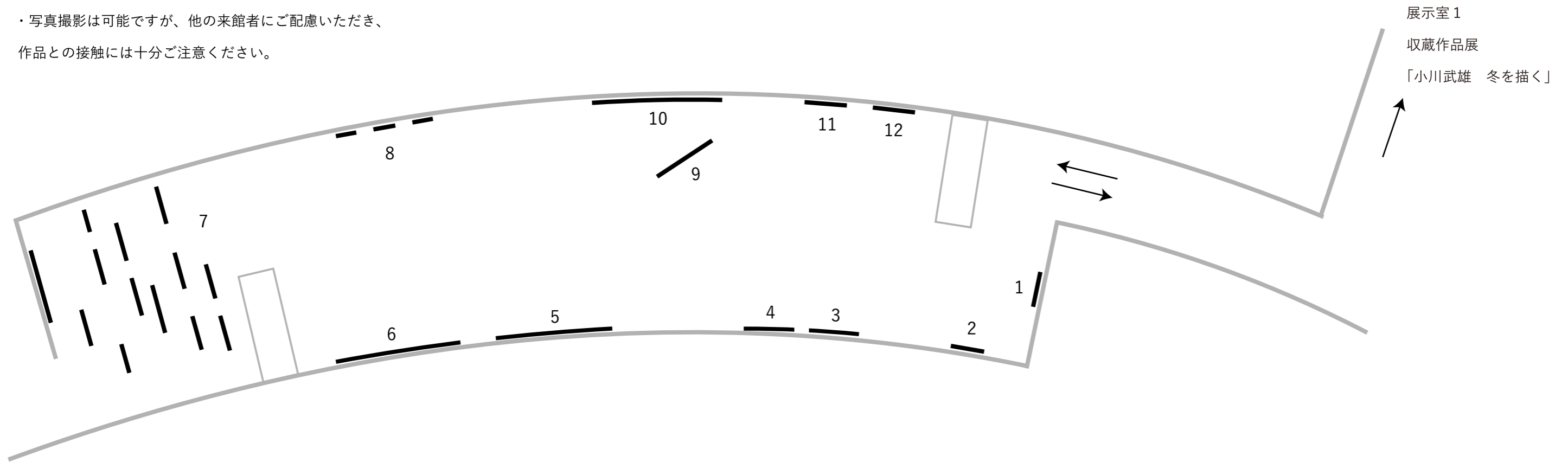
<https://qco-taco.com/>

<https://www.instagram.com/qcotaco>



@QCOTACO

- ・作品や機材には触らないでください。
- ・荷物等の作品との接触にご注意ください。
- ・写真撮影は可能ですが、他の来館者にご配慮いただき、作品との接触には十分ご注意ください。



1. **window (Hospital)**
和紙に木版摺り、水彩
2024 年

2. **window (Street, Rooms)**
和紙に木版摺り、水彩
2022 年

3. **カーテン、左寄せ**
和紙に木版摺り、水彩
2021 年

4. **カーテン、右寄せ**
和紙に木版摺り、水彩
2021 年

5. **カーテン Divide**
和紙に木版摺り、水彩
2023 年

6. **カーテン Divide (gray)**
和紙に木版摺り、水彩
2023 年

7. **Ridge**
宣紙・和紙に木版摺り、水彩、映像
2024 年

8. **Stripe (1-9)**
和紙に木版摺り、水彩
2024 年

9. **Edge (mountain)**
和紙に木版摺り、水彩
2023 年

10. **Edge (body, mountain)**
和紙に木版摺り、水彩
2023 年

11. **useless landscape**
和紙に木版摺り、水彩
2022 年

12. **水を舐める**
宣紙に木版摺り、ガッシュ
2022 年

絶え間ない変化は、ある種の希望のように思う。不変とさえ感じる巨大な山々、その美しい稜線も日々着実に崩れ移ろう。あるいは、悠久の大河は？

木の板に決定的に刻んだ線はまごうことなき同じ形を摺り写すが、入力の仕事ひとつ、空間と時間の経ち方ひとつで、現れる像が変わる。版に刻んだものは、私の“見たもの”だが、“見えてきたもの”は異なる像だ。記憶は確かだろうか？場所や距離が、時や光が変わるたびに、刻々と変化する像。私はその移ろいをことほぐ。

石川丘子